



自然の恵みと人の知恵を融合し、
バランスのよい未来社会を
築きたいと考えています。

ヤスハラケミカル株式会社
代表取締役社長

安原 禎二

■ テルペンが広げる豊かな可能性

当社は「自然の恵みと科学技術を融合させる独創企業として、産業と生活の向上につながる活動領域をひろげます。」という基本理念の基に企業活動を行っており、それを環境マネジメントでも基本理念としています。

天然原料テルペンは、石炭や石油が広く使われるようになる前から、大航海時代には船体のコーティング材として使われるなど、人類の暮らしや産業の発展に寄与してきました。そして日本でも森林に松が豊富にあった時代には、松から油を採って燃料に使うことは一般的に行われていました。

当社は、第二次大戦前の物資不足の時代に創業し、以来テルペンとその応用技術を中心にした多様な製品を社会に提供してきました。創業当時には、松脂やテルペン原料を扱う会社がたくさんありましたが、その多くが人件費高騰により転業されていくなかで、当社は一貫して独自路線を歩んでいます。地球環境問題を人類全体のテーマとして考えなければならない今、当社はテルペンとその応用技術の可能性をさらに広げていきたいと考えています。

■ 新しい価値を付加し社会に還元

その精神の源にあるものは、これまで利用されていなかったモノや捨てられていたモノにも新たな視点から光を当て、利用価値を付加して「社会に還元する」ことです。

例えばテルペン原料のひとつであるオレンジ油がよい例でしょう。オレンジジュースの一大生産地であるフロリダでは、ジュースを絞ったカスが大量に発生し課題となっていました。オレンジの皮には脂分が含まれていますので、当社ではオレンジの皮から抽出したテルペンを原料として輸入し、独自の技術でさまざまな化学物質に変化させ製品として利用しています。オレンジの皮の脂分は新しい化学原料となり、また脂分の抜き取られた皮は牛の飼料になり、全く捨てるところがなくなったのです。

同様に、別の事例では化学製品の生産過程で廃棄物として捨てられていた物質を、当社の技術で別の組成に変化させて、利用価値のある製品に生まれ変わらせたこともあります。

原料をムダなく使うことで「社会に還元する」ことは、当社の基軸であり、これまで、これからもこの姿勢が揺らぐことはありません。

基本理念

自然の恵みと科学技術を融合させる独創企業として、
産業と生活の向上につながる活動領域をひろげます。

生産効率の向上による環境効果

当社では環境行動指針として、各事業所における省エネ活動や廃棄物削減活動を徹底していますが、最も省エネ効果・省資源効果が高いのは、生産性向上であると考えています。

そのため、生産工程の見直しを日常的にきめ細かく行うとともに、生産ラインの移転や工場配置の検証も、全社的視点からダイナミックに行っています。

その一環として、2007年には福山工場の本格稼働を開始しました。これまで当社には海に隣接した大規模生産設備として新居浜工場がありましたが、今後も海外からの原料輸入が続くことなどから臨海地区での生産設備の増強がかねてより課題となっていました。

そこで本社にも近い福山市臨海地区に、絶好の候補地を取得し、徐々に生産設備を準備していました。本格稼働がはじまったことで、安定的に供給責任を果たすための二極体制が整ったこととなります。福山工場では、エレクトロニクスや自動車用塗料など、今後の成長が見込める分野の製品を中心に製造することで、生産性向上効果とともに会社全体の推進力にも寄与することを期待しています。

品質管理体制の向上

当社は、品質管理の徹底こそ生産性向上とムダの排除につながるの考え方から、早くから独自の品質管理体制を構築してきました。また当社の製品を利用するのは、最先端IT企業や食品メーカーなど、日本を代表する一流企業も多く含まれることから、そうした企業に対する信頼性の向上のためにも、より一層の品質管理体制の向上が望まれていました。

これに応え、いち早く品質管理や環境対策に関するマニュアル化に着手し、これまでの体制に磨きをかけるとともに、文書化することでシステムの精度を高めています。さらには客観的判断を促すための数値目標やISO9001・ISO14001取得にも積極的に取り組みました。これらの活動を通じて、結果としてさらに品質管理向上と環境対策を進める原動力になりました。

社会との一体化

当社の製品は、納入先を通してその先の消費財メーカーで最先端IT製品から暮らしの快適化や安全化に貢献する製品まで、数多く利用されています。

目に見えないところで、社会に貢献する力になっていることから、社会と一体となっているという意識でこれまで経営を行ってきましたが、これからの時代にはもっと積極的に社会に関わる必要があるとの認識から、より積極的に機会を捉えて社会活動を展開しています。本環境報告書の発行も、そうした活動の一環です。

持続的発展のためのバランス

20世紀は世界各国が大量生産・大量消費で発展してきましたが、今は過渡期にあり、地球環境優先をめざす国々と、これから大量消費へ向かう国々との間にきしみが生じてバランスが崩れている時代といえます。

地球とそれぞれの国々の持続的発展のためには、地球規模で全ての人が考え取り組んでいかなければならない問題ですが、一企業として、やらなければならないことがあると思っています。

永年天然資源を原料として、創意と工夫でより有益な製品を開発してきた当社だからこそ、できることがあるはず。これを実現することこそ、ヤスハラケミカルの社会的使命といえるでしょう。

これからも地球規模の持続的発展のために、会社の力をひとつにしてバランス改善への挑戦を続けていきたいと考えています。

